

令和4年大船渡市教育委員会第7回定例会会議録

1. 日 時

令和4年7月26日（火） 午後2時から午後3時10分まで

2. 場 所

大船渡市役所 教育委員会会議室

3. 出席委員の氏名

教 育 長	小 松 伸 也
教育長職務代理者	柏 崎 正 明
委 員	村 谷 志 保
委 員	鈴 木 晴 紀
委 員	清 水 恵 子

4. 説明等のため出席した職員

教 育 次 長	遠 藤 和 枝
学 校 教 育 課 長	佐 藤 真
図 書 館 長	熊 谷 善 男

5. 議 事

議案なし

6. 報告事項

（教育次長）

- ① 令和3年度文化財事業の実施状況について
- ② 「さんりく ジオパーク かわらばん 2022」の実施について

（学校教育課）

- ① 令和4年度第2回市内小・中学校長会議の開催結果について
- ② 市内小中学校の夏休み期間について
- ③ 市内小中学校閉庁日について
- ④ 第一中学校改築工事の進捗状況について

（図書館）

- ① 令和3年度図書館事業の実施状況及び利用状況について

7. 会議の概要

(教育長)

- ・令和4年大船渡市教育委員会第7回定例会の開会を宣言する。
- ・令和4年第6回定例会の会議録について、質問、意見を求めた結果、教育委員の承認を得る。
- ・諸報告事項について、事務局等の説明を求める。

(教育次長)

- ・別添資料等により報告する。

(学校教育課長)

- ・別添資料等により報告する。

(図書館長)

- ・別添資料等により報告する。

(教育長)

- ・追加報告を求める。
- ・追加報告がないことを確認後、報告事項についての質問、意見を求める。

(教育長職務代理人)

- ・図書館では、指定管理者制度を導入する際に実施した利用者アンケートを踏まえ、要望を取り入れたものはあるか。

(図書館長)

- ・椅子が木製で、長時間座っていると痛くなるので改善してほしいという要望があり、クッションの貸し出しをしている。また、地元新聞はデジタル版に切り替えて、パソコン画面で閲覧できるサービスを開始した。アンケートでは、貸出しのインターネット予約を知らない人が多かったので、PRをする。

(教育長職務代理人)

- ・指定管理者制度の導入によって、図書館のサービス向上は図られたか。

(図書館長)

- ・司書は、令和3年度まで2人だったが、現在は4人となり、専門的な対応ができるようになった。職員は、昨年度までは、パートタイムの会計年度任用職員だったがフルタイムとなり、勤務体制が安定した。

(委員)

- ・さんりくジオパークかわらばんの例年の応募数はどれくらいか。また、どのような観点で表彰作品を選定しているか。

(教育次長)

- ・例年は100人位だが、昨年度は、対象を気仙地区に広げたことと、末崎小学校が全校応募したことから、250人位の応募があった。子どもたちが自ら研究した内容や表現力などの観点で選定している。

(委員)

- ・「海辺の生物観察会」に参加したが、講師陣が充実しており、ジオパークや身近な自然に対し、盛り立てていることがわかり、興味深く感じた。

(教育次長)

- ・博物館事業の中でも特に人気が高い講座であり、陸前高田市博物館からの協力も得ながら、濃い内容で参加者からも大好評だった。

(委員)

- ・椿学習は、地域や郷土の伝統に触れるなど様々な学習活動に応用できるのではないか。
- ・さんりくジオパークかわらばんの作品は、夏休みの自由研究に応用できると思うので、広くPRしてほしい。

(学校教育課長)

- ・椿学習は、学校からも充実した活動で取り組みやすいとの声があり、今後も農林課と連携を図っていきたい。

(教育長)

- ・さんりくジオパークかわらばんは、学校と連携を図り、夏休みの宿題に活用されている。入賞作品を新聞などに掲載することによって反響があり、子どもたちだけではなく、ジオパークの周知につながる取組なので、今後も周知に努めたい。

(委員)

- ・ロイロノートは、ユーザー数を見ると定期的にうまく活用している学校があるのではないかと思う。

(学校教育課長)

- ・高い利用率で推移している学校がある。今後もロイロノートを常時使用できる体制を整えていく。

(委員)

- ・ICT の活用が先生方の多忙化解消につながっていないのではないか。先生方に浸透しきれていない印象を受ける。現在の利用状況などを把握し、課題解決に向けた今後の方向性を示してほしい。

(教育長)

- ・ICT 活用の成果を分析するのは難しい点がある。近日中に ICT 研修会を開催するが、先生方の参加率も学校によってばらつきがある。出席者が各学校で伝講し、普段の授業でどのように活用していくか研究するよう促している。夏休み期間中には、市内全校で、児童生徒がタブレットを持ち帰り、課題に取り組むことを校長会議で通達した。

(教育長職務代理人)

- ・多忙化解消対策方針として、月に1回以上の年次休暇を取得する教職員を100%とするとあるが、具体的な目標を示して、休暇を取りやすい職場環境を作ることが大切だ。

(学校教育課長)

- ・実際には休暇を取りづらいと言う声があって、難しい目標ではあるが、だからこそ学校で工夫して取り組むよう提案した。

(委員)

- ・令和4年度岩手県中学校新入生学習状況調査結果の中で、質問事項の「学校に行くのは楽しいと思いますか」と「あなたは、将来の夢や目標をもっていますか」の2問で、当市は県平均を上回っていて、いい傾向だと思う。
- ・領域等正答率は、どの領域でも県より下回っている状況なので、調査結果を分析し、

今後の指導方法について更に検討されたい。どの教科も小学校からの積み重ねが大事だと思うので、中学校区ごとに学習面、生活面の連携を深めてほしい。

(学校教育課長)

- ・市の行政評価でも、学校に行くのが楽しいという項目を一番の目標に掲げているので、この結果は大変嬉しく思っている。子どもたちが将来の夢や目標を意識しており、しっかり成長していることを実感した。今後は、課題の解決に向けて、各学校で領域別にデータ分析を行い、反省点を踏まえながら、研究主任を中心に対応していきたい。

(教育長)

- ・市総合計画の基本事業シートに、「学校に行くのが楽しいと思う」と回答する子どもたちの割合が基本目標になっている。小学校は上がっている反面、中学校は下降傾向ではあるが、何とかキープしたい。数学が落ち込んでいることが明確になったので、教職員の授業力、指導力を向上させ、日々の授業にどう生かしていくかが課題だ。

(学校教育課長)

- ・今年度、学力向上委員会に国語・算数・外国語・ICTの4つのプロジェクトを立ち上げて、昨年度の課題に対し、新たな授業を提案するという取組を進めている。

(委員)

- ・ICTの活用の結果、成績が向上したとか、学力の定着が図られたということ、目に見える形で市内に浸透させていくことが大事なのではないか。時間がかかるとは思うが、毎年の積み重ねなので、具体的な指標を示してほしい。

(学校教育課長)

- ・ICTの活用と学力の相関関係は、明確に示せるものと示すことができないものがある。今後の取組の中で、有効なデータが出た場合は、お示ししたい。

(教育長職務代理者)

- ・震災直後は、当市の学力は県平均をかなり下回ったが、徐々に差がなくなっているのではないか。

(学校教育課長)

- ・学力は若干下降傾向にあり、県も同じ課題を抱えている。教職員のスキルアップ研修会を開催するなど、県と連携していく。当市では、小学校からの積み重ねの成果として、中学1年の外国語のデータがかなり良くなっている。

(教育長)

- ・ICTについては、まだまだ検討段階ではあるが、活用能力の定着度を図るテスト導入や入試へのタブレット活用などが想定されており、今後の国等の動向を注視していく。

(委員)

- ・教職員多忙化解消の具体的な取組の結果、成果が出ている。働き方改革におけるICTの活用については、職員によって温度差があり、ICTに不慣れな職員に研修等を実施してほしい。行事や業務の効率化を進めるために、学校行事についても思い切った精選が必要ではないか。

(学校教育課長)

- ・多忙化解消については、教職員の負担を軽減することが目的ではなく、子どもたちに向き合う時間を確保するためということを大前提に、効果を検証しながら、学校と連

携を図っていく。

(教育長)

- ・その他、質問、意見がないことを確認後、諸報告を終了する。

(教育長)

- ・開議を宣言する。
- ・日程第1、会期の決定について、会期を1日とする。
- ・本日は、議案がない旨説明する。
- ・その他、質問・意見等がないことを確認後、議案審議を終了する。
- ・令和4年大船渡市教育委員会第7回定例会の閉会を宣言する。

会議録作成者 教育長 小松伸也

会議録署名者 教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員